

要 望 書

《国道349号整備促進について》

【平成28年11月】

国道349号建設促進期成同盟会
会 長 根 本 匠

国道349号の整備促進について

国道349号は、昭和50年4月に国道へ昇格以来、貴県の特段のご高配により改良整備が進められ、着々とその成果が得られておりますことに感謝申し上げます。

国道349号は、茨城県水戸市を起点に、福島県の阿武隈山系を縦断しながら宮城県柴田町に至る実延長約260km、沿線3県・18市町村に亘る路線で、その路程の多くが阿武隈山系等山間部を通過しているから、各所に幅員が狭隘で、かつ、屈曲の甚だしい箇所が多数残されており、国道としての機能を十二分に発揮できておりません。

また、沿線市町村の中心市街地等を通る路線でも、歩道等交通安全施設の整備の遅れに加え、近年の通行量の増加、特に大型車両の増加によって歩行者の安全が脅かされているなど、地域住民より一日も早い改良整備が強く求められております。

道路は、人と暮らしを支え、豊かな地域社会を形成する上で最も基本的な社会資本であることは言うまでもありません。

さらに、我が国全体の喫緊の課題である「人口減少の克服」と「地方創生」による「一億総活躍社会」の実現にも道路の整備は不可欠であります。

また、東日本大震災において道路は、支援物資の運搬や緊急車両の通行など「命をつなぐ道」として、その重要性が再認識されたところであり、加えて、震災を教訓に幹線道路の整備だけではなく、それを補完する道路を整備し、代替性・多重性のある道路ネットワークを構築することが求められており、国道349号が整備されれば、その機能を十分に発揮できるものと大いに期待されるものであります。

つきましては、沿線市町村の振興発展と沿線住民の安全・安心の確保、そして災害時における幹線道路等の補完機能を十二分に果たせるよう、沿線市町村が強く求める整備促進要望箇所について、早急に改良整備を図られるよう強く要望いたします。

国道 349 号 整備促進要望箇所


市町村名	要望 番号	要 望 箇 所		事 業 内 容
		箇所名 (地名)	延長 m	
柴 田 町	①	白 幡 橋	168	橋 梁 整 備
角 田 市	②	江 尻 ～ 小 坂 地 区	2,000	交 通 安 全 施 設 等 整 備 事 業
丸 森 町	③	大 張 川 張 ～ 耕 野 地 区	6,000	道 路 改 良

要望 番号	市町村名	宮 城 県 柴 田 町	
①	要望箇所	白 幡 橋	
		事業内容	橋 梁 整 備
		延長 (m)	1 6 8
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>柴田町を縦走する一級河川「白石川」に架かる「白幡橋」は、昭和 13 年に架設以来、既に 78 年が経過し、老朽化が著しい状況にあります。</p> <p>「白幡橋」は、国道 349 号を利用して角田市・丸森町、そして伊達市梁川町など福島県方面へ通じる重要な橋梁として年々通行車量が増加しており、さらに主要地方道白石・柴田線とも重複しているため、朝夕のラッシュ時は慢性的な交通渋滞が生じております。</p> <p>平成 20 年度に地覆、高欄、照明灯の交換及び歩道橋塗装補修工事が行われ、平成 26 年度には耐震補強工事が実施されたところですが、今後も交通量の増加が予想されるため、早急に橋りょうについて強く要望いたします。</p>	



要望番号	市町村名	宮城県角田市	
②	要望箇所	江尻～小坂地区	
		事業内容	交通安全施設等整備
		延長 (m)	2,000
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>角田市江尻～小坂地区については、平成 11 年度より交通安全施設等整備事業が実施され、I 期工事 (L=1,000m) が平成 21 年度に完了したところであります。</p> <p>しかしながら本箇所は、一級河川「阿武隈川」の堤防の一部を国道として利用しており、両側にガードレールが設置されている箇所もあり、近年の交通量の増加、特に大型車両の増加により、歩道未整備区間での歩行者・自転車が大変危険な状況にあります。</p> <p>つきましては、II 期工事 (L=1,000m) の早期完成とその先の歩道整備について強く要望いたします。</p>	



要望番号	市町村名	宮 城 県 丸 森 町	
③	要望箇所	大 張 川 張 ～ 耕 野 地 区	
		事業内容	道路改良
		延長 (m)	6,000
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>丸森町大張川張～耕野区間は、幅員が狭隘で屈曲が連続しているため、接触事故が多発しており、特に、大型車両は、対面交差を行うためには、一方が待避所まで後退しなければならず、大変危険な状況にあります。</p> <p>さらに、阿武隈川の増水時には冠水によって交通不能となる区間でもあります。</p> <p>また、本路線は、「国道4号」・「東北自動車道」で大規模な災害や冬季間の凍結等により通行止めが発生した際には、迂回路としての機能を果たす路線であることから、早急な改良整備が強く求められております。</p> <p>つきましては、現在、検討が進められている国直轄権限代行事業の早期採択に向け、国との協議を促進されるよう、強く要望いたします。</p>	



